第１０５回全国高校サッカー選手権大会
和歌山大会・実施要項

１．主　　催　　一般社団法人和歌山県サッカー協会　和歌山県高等学校体育連盟　株式会社テレビ和歌山

２．主　　管　　和歌山県高等学校体育連盟サッカー専門部

３．後　　援　　公益社団法人和歌山県スポーツ協会　和歌山県教育委員会　和歌山市　読売新聞社

４．協　　賛　　明治　富士フイルムビジネスイノベーション　ホットスタッフ　テイジン　コープ共済

５．日程と会場

◎参加　　２５チーム（合同が３チーム　県高体連サッカー専門部の加盟は２９校）

◎組み合わせ抽選会　　９月１７日（木）１０：３０～　和歌山工業高等学校　多目的ホール

◎１回戦・２回戦　　１０月２３日（金）・２４日（土）・２５日（日）
桃源郷運動公園

◎３回戦・準々決勝戦　　１０月２９日（木）・３０日（金）・３１日（土）
上富田スポーツセンター、田辺スポーツパーク陸上競技場

◎準決勝戦　　１１月　７日（土）紀三井寺公園陸上競技場
試合開始　第１試合１１：０５　　第２試合１３：２０

◎決勝戦　　１１月１５日（日）紀三井寺公園陸上競技場　試合開始　１３：０５

６．組み合わせ抽選方法

A)　本年度高校総体の上位４チーム（①初芝橋本、②桐蔭、③和歌山北、③近大新宮）のうち、総体優勝の初芝橋本を最初のゾーンに、同じく準優勝の桐蔭を最後のゾーンにシードする。準決勝までお互いに対戦しないよう残りの２チームの和歌山北と近大新宮をシードする。以上４校は、３回戦からの出場とする。

B)　本年度高校総体上位８チームうち、５位以下のチーム（那賀、日高、星林、近大和歌山）をシードする。

C)　シード８校以外のチームに関しては、予備抽選で抽選順を決定し、順番に抽選を行うこととする。

７．表彰、その他

A)　優勝チームには賞状、優勝旗、優勝カップ、メダル、協賛社杯などを、また２位、３位のチームには賞状を授与する。

B)　優秀選手を本大会の上位４チームから選考し発表する。人数は１５人以内とする。

C)　優勝チームは、令和８年度全国高等学校サッカー選手権大会の出場権を得る。

８．放送予定　テレビ和歌山で実況中継（試合展開によって延長の場合有り）

◎準決勝戦　１１／　７（土）１１：００～１５：３０　（最大延長１７：００）

◎決勝戦　　１１／１５（日）１３：００～１５：３０　（最大延長１７：００）

大会要項

A)　参加資格

①　日本サッカー協会に加盟登録された２種登録チームの所属選手で、県高体連盟加盟校の生徒であり、本年度日本サッカー協会に登録を完了した者であること。

②　本年度４月２日以降に当該学校に在学している者で、年令は平成１９年４月２日以降に生まれた者とする。
ただし、出場は同一競技３回までとし、同一学年での出場は１回かぎりとする。

③　「合同チーム」を編成する場合は、県高体連サッカー専門部の内規に基づくものとする。なお本大会における「合同チーム」とは、部員不足により単独校として参加できないチームに対して、出場の機会を与えることを目的とするもので、強化を目的とした合同チームの編成は認めない。そのような事実が判明した場合は、大会参加を取り消すこととする。

④　転校後６ヶ月未満の者の参加は認めない。ただし、一家転居などやむを得ない場合は、県高体連会長の許可があれば、その限りではない。

⑤　転校を伴わなくても他の連盟から高体連加盟チームに移籍する場合は、上記④に準じるものとする。本規定⑤の適用は、当該年度内に限る。

⑥　学校長の出場承認、並びに健康診断を受けた者であること。

⑦　参加資格に違反し、その他不都合な行為のあった場合は、該当チームの出場を停止する。

B)　参加申込

①　１チームは、引率教員１人、監督１人、選手２５人で、引率教員が監督を兼任してもよい。

②　所定の用紙に必要事項を記入し、指定期日までに事務局に申し込む。エントリー選手の追加は認めない。選手の変更は、選手変更届を定められた期日までに事務局に提出することによって５名を上限として認める。

C)　競技規定

①　１チームは２５名までの選手で編成し、エントリー時に１１名に満たないチームは、出場できない。

②　交代は５名までとする。また、試合中の交代回数は各チーム最大３回とする（１回に複数人を交代することは可能）。 延長戦が行われる場合、さらに１名かつ１回の交代を行うことができる（直前の８０分間と合わせて最大６名かつ４回の交代が可能となる）。ただし、ハーフタイムや延長戦開始前および延長戦のハーフタイムの交代は、回数に含まれない。

③　脳振盪を起こした、またはその疑いがある競技者に限り、（公財）日本サッカー協会競技規則「脳振盪による交代（再出場なし）」を適用する。

④　本大会において退場処分を受けた者は、次の１試合に出場できない。それ以降の処置については、本大会の規律フェアプレー委員会で決定する。

⑤　本大会において、累積した警告が２回になった者は、次の１試合に出場できない。

⑥　本大会において、災害や悪天候など、不可抗力により試合が中止となった場合は、その試合（試合中に中止になった場合はその試合の途中経過）を無効とせず、翌日以降にその試合が中止となった時間から、残りの試合時間を行う。再試合の日程・場所・審判は本部役員会議で決定する。なお、本規定は延長戦にも適用する。ただし、正規の試合が終了後のＰＫ方式の前、またはその途中での中止には適用せず、トスまたは抽選で勝敗を決する。試合の中止を決定後、1 時間以内に両チームおよび本部役員と協議のうえ、中止した時の結果を下に試合を成立させることができる。また、同一大会における以降の日程・場所・審判については本部役員会議で決定する。

⑦　特に規定のない場合は、本年度日本サッカー協会の「サッカー競技規則(2026/2027)」による。

D)　競技方法

①　トーナメント方式による。

②　試合時間は前後半で８０分とし、勝敗が決しない場合はペナルティキック（以下ＰＫ）方式で、次回戦に進出するチームを決定する。ただし準決勝戦、決勝戦において勝敗が決しない場合は、試合を前後半で２０分延長し、さらにそれでも決しない場合は、ＰＫ方式で次回戦に進出するチームを決定する。なお決勝戦においては優勝校を決定するものとする。